

ツバメオモト ユリ科

Clintonia udensis Trautv. et C.A.Mey.

鳥取県：絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)

環境省：—



氷ノ山 2008.6.8/撮影：永松 大

■**選定理由**：県内での自生地は1カ所のみ。複数の調査努力によっても現存個体数は数個体のみ。採取圧もあり、いつ絶滅してもおかしくない。

■**特徴**：通常は亜高山帯の針葉樹林下に生育する多年生草本。県内では氷ノ山山頂部に生育。根出する2-5枚の葉をつけ、長さ15 cmほどで長楕円形。やや肉厚。高さ30 cmほどの花茎を伸ばし、先端に単総状花序をつくって白色の花をつける。写真の個体はやや小型で典型的な個体よりも花の数が少ない。この個体は後日見つからず、盗掘されたとみられる。

■**分布** 県内：若桜町。県外：北海道，本州（近畿以北）。北東アジアからシベリア東部。

■**保護上の留意点**：氷ノ山の自然植生保護。嚴重な採取防止と保全の啓発。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種，分布西限

■**文献**：54.

執筆：永松 大